

事業実績（視察）報告

1. 視察の概要

- (1) 目的 公立藤岡総合病院の運営について
- (2) 日時 平成 30 年 10 月 17 日（水）
13：30～15：30
- (3) 場所 群馬県藤岡市 公立藤岡総合病院
- (4) 参加者 大河内博之



公立藤岡総合病院前にて

2. 主な質疑とその回答

Q、独立行政法人でなく、医療事務組合とされた理由は何か。

A、この地域が山間部であり医療機関に恵まれなかった。そのことで近代的な医療機関の整備が必須であったため、近隣の町村による医療事務組合が設立された。

Q、老人保健施設「しらさぎの里」及び訪問ステーション「はるかぜ」を設けているが、それぞれ独立採算制か。または、組合に直接属している組織か。

A、それぞれ独立採算制である。

平成 9 年に組合事業として介護老人保険事業「しらさぎの里」、訪問介護事業「はるかぜ」を開設した。

Q、老人保健施設「しらさぎの里」及び訪問介護ステーション「はるかぜ」の利用状況はどのようなか。

A、この 5 年間の利用者平均 325 人、利用率は約 89%で推移している。

Q、訪問介護ステーション「はるかぜ」の規模と業務内容はどのようなか。

A、365 日 24 時間対応をしている。黒字計上となっている。

Q、医師の大学医学部の系列はどのようなか。

A、一人を除いて全て群馬大医学部出身である。

Q、医師の確保に際し、日頃からどのような苦労があるか。

A、・近くに群馬大学があるので、毎年お願いしている。

- ・ホームページで募集をしたり、民間の医師派遣業者にも依頼している。
- ・現在働いている医師に病院の良いところを宣伝してもらう。
- ・各医師が喜んでもらえるように、新しい機材や薬剤等にも配慮している。
- ・学会や研究会の費用も負担している。
- ・外科系の専門医、女性医師の確保にも努めている。

3. 所見・西尾市政への反映に向けた課題

- ・西尾市民病院は 18 年連続赤字が続いており、今のままでは市の財政を圧迫しかねない状況であるため、今の状況を変えるのが喫緊の課題といえる。
- ・現在、碧南市民病院との経営統合に向けた話し合いがされようとしているが、もうすぐ西尾市の近くに藤田医科大学岡崎医療センターが開院する予定となっており、さらに赤字がひどくなるのではないかと心配するところである。慎重さは感じるが、もっとスピード感をもって進められないのか疑問に思う。
- ・西尾市民病院への救急患者の受け入れや医師不足の問題等、まだまだ多くの課題が山積している。今までに付いてしまった西尾市民病院の悪いイメージはなかなか消えそうにないと感じる。
- ・公立藤岡総合病院は、医療事務組合としてうまくいっているようであるが、これが西尾市民病院に当てはまるとは思えない。西尾市民病院の運営が、良い方向に向かって行くようにさらに情報収集等を行っていきたい。



公立藤岡総合病院

事業実績（視察）報告

1. 視察の概要

- (1) 目的 学校プールの民間活用について
- (2) 日時 平成 30 年 10 月 18 日（木）
10：00～12：00
- (3) 場所 千葉県佐倉市役所
- (4) 参加者 大河内博之



佐倉市役所前にて

2. 主な質疑とその回答

Q、FM推進基本方針の考えはどのようなか。また、計画が打ち出された背景・経緯はどのようなか。

A、東名高速道路のトンネル崩落事故により、公共施設計画や総合基本計画の見直しを検討した。

Q、本計画の主導（主管）はどこか。

A、小中学校における水泳指導に関する基本的な考え方は、教育委員会が定める。定めるあたり、資産管理経営室と入念な打ち合わせをした。

Q、「データの見える化」をどのように意識して計画したか。

A、学校毎に、学校プールが存続した場合と民間プールに委託した場合のコストとサービスの比較をし、メリットの大きい学校から取り組むことにした。平成 25 年度から佐倉小学校（24 学級）、翌 26 年度から西志津小学校（30 学級）の 2 校で民間プールの活用を始めた。

Q、委託について、段階的な移行はどのように計画されたか。また、委託手段の詳細はどのようなか。

A、耐震工事をきっかけに公共施設等総合管理計画を策定した。プール施設、指導業務、移動手段の確保を基本として、円滑な水泳授業を目的とした。

Q、実施した結果の効果と課題はどのようなか。また、今後の対応はどのようなか。

A、地域や保護者からは概ね良い評価をいただいている。現在、1 か所の民間プールのみの対応となっている。対応校を増やしていきたいが、対応してくれる民間プールがあるかが問題となっている。

3. 所見・西尾市政への反映に向けた課題

- ・現時点で、来年度から民間プールに移行する予定の小学校は、私の地元矢田小学校のみとなっている。
本市としては、ほとんどの小学校の水泳授業を民間プールに委託したいと考えているが、未だに借りる予定の民間プールとの契約に至ったという話は聞いていないし、佐倉市においても、契約までに多くの問題があったと聞いている。
1つの民間プールで何校まで対応可能かどうか等、これから検証していかなくてはならない課題であり、また、民間プールの受け入れ条件と市の委託条件が合致するかどうか疑問に思うところである。
- ・佐倉市では、指導にかかる経費が上がり、徐々に料金が高くなったようである。また、民間プールを午前中完全貸し切りとしていたが、本市において、それが可能かどうかも疑問である。
- ・本市においては、まず、矢田小学校1校を試験的に行い、その結果を検証していきたい。

事業実績（視察）報告

1. 視察の概要

- (1) 目的 学校の暑さ対策「クールネックタオル」の取り組みについて
- (2) 日時 平成30年10月19日（金）
13：30～15：30
- (3) 場所 静岡県富士市役所
- (4) 参加者 大河内博之



富士市役所前にて

2. 主な質疑とその回答

Q、施策発案が打ち出された背景・経緯はどのようなか。

A、高額な資金を必要とした学校施設の老朽化問題を優先するべきと考え、コストを考えると当時はエアコンの導入に踏み切れなかった。

Q、本計画の主導（主管）はどこか。

A、教育委員会である。

Q、クールネックタオルの効果の検証状況はどのようなか。

- ・実施した結果の効果と課題はどのようなか。
- ・今度の対応はどのようなか。

A、コスト面、手軽さは当時としては革新的な取り組みであったが、現在、全国的にエアコン設置の流れとなっている。

Q、エアコン設置も検討しているとのことであるが、今後の活用の考えはどのようなか。

A、全国的な流れを受け、富士市でもエアコン設置の方針となったが、屋外活動での活用を今後も続け、引き続き調査をしていくこととなった。

3. 所見・西尾市政への反映に向けた課題

- ・今回の富士市の取り組みは、小中学校の全国的なエアコン設置の流れとなる前の取り組みではあるが、「クールネックタオル」や自作の壁掛け扇風機用ハッカ油入りの容器を作成した富士市の職員の熱意には感心させられた。
- ・「クールネックタオル」は、屋外の活動用には有効な取り組みであると感じた。
- ・本市でも、私が一般質問で暑さ対策として提案させていただいた給水器の設置も考えていただきたいと思う。

収支報告

項 目	支出金額	備 考
調査研究費	73,530円	旅 費 73,530円
計	73,530円	